専門教育科目 講義科目

授業科目名	医療福祉経営論	科目コード	配当年次	単位
担当教員	中村　誠司	EB68	3・4	4

科目の概要

「医療福祉経営」とは、健康や医療に関わるサービスを提供する施設である病院、診療所、健診センター、老人保健施設、特別養護老人ホーム、訪問看護ステーション、介護サービス事業所など医療福祉施設などにおけるマネジメント全般をさす。医療福祉の現場で、マネジメントに携わる人々、医療福祉経営に関して専門的に学びたい人、医療産業や医療政策に関わりたい人などヘルスケア全般について学んでいく。本科目では企業経営で有効とされる理論のみならず、医療福祉の現場で想定される様々なケースについて考察し、実際の場面で応用可能なマネジメントに関する知識の習得を目指す。

科目の到達目標

①ヘルスサービスの特性やサービスの構造、サービスの交換過程、専門職組織の特性やマネジメントの特性が理解できる。
②医療福祉に関わる政策や制度の関わりから政治学や行政学的な視点で考察する力の習得ができる。

テキスト	『ヘルスケア・マネジメント―医療福祉経営の基本的視座―』中島 明彦,同友館,2009年

テキストの読み方

①テキストは３部構成になっており、第１に医療福祉施設が提供するサービスと顧客についてサービスの提供側と受ける側の架け橋となるサービスマネジメント理論を理解する。
②第２に医療の現場で働く人と組織についてのマネジメントを探究する。専門職組織でのマネジメントに関する課題について分析している部分を理解する。
③第３に医療福祉に関わる政策や制度について政治学や行政学的な視点で考察し、自分の身近な事象に置き換えて考えてみる。

単位修得の方法

①リポート課題（基本・応用）を提出し、それぞれ60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、４単位を修得できる。
または、
②基本リポートを提出し、60点以上であれば合格となり、スクーリングを受講できる。スクーリングに合格すると、評価が確定し、４単位を修得できる。この場合、応用リポートの提出は不要。